

各位

会社名 アレンザホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼 CEO 浅倉 俊一  
 (コード: 3546 東証プライム市場)  
 問合せ先 取締役経営戦略室長 伊藤 和哉  
 (TEL: 024-563-6818)

## 2026年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との 差異に関するお知らせ

2025年4月10日に公表いたしました2026年2月期第2四半期(中間期)(2025年3月1日~2025年8月31日)の連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 2026年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想値と実績値との差異

(2025年3月1日~2025年8月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 79,600	百万円 2,100	百万円 2,350	百万円 1,450	円 銭 48.02
実績値(B)	<b>78,126</b>	<b>3,039</b>	<b>3,297</b>	<b>2,023</b>	<b>67.39</b>
差額(B-A)	▲1,473	+939	+947	+573	—
差額率(%)	▲1.9	44.7	40.3	39.5	—
(ご参考)前期中間期連結実績 (2025年2月期中間期)	78,759	1,825	2,037	1,219	40.43

### 2. 差異の理由

2026年2月期第2四半期(中間期)において、中期成長戦略として中核事業であるホームセンター事業の収益基盤を強化するため「MD改革」としてPB商品の売上構成比率20%の実現と地域一番商品の育成を重点課題とするとともに、物流面から過剰在庫削減、物量の平準化、EDIデータを活用するなどインフラを構築しプロフィット物流による物流センターの収益改善を図ること、そして業務オペレーションとしてコスト削減、値下抑制やロス対策などの改善活動を推進した結果、消費者の節約志向や買い控えによる継続的な客数・買上点数減少により営業収益は下回ったものの、営業利益、経常利益、親会社に帰属する中間純利益につきましては予想を上回る結果となりました。

なお、2025年4月10日に公表いたしました2026年2月期通期連結業績予想につきましては、資源価格及び原材料価格の高騰が継続しているほか、物価上昇による個人消費への影響など、景気への影響が不透明な状況が続くものと見込まれるため据え置くこととしております。今後修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以上